

令和9年度 大田区立久原小学校 学校運営の基本的な方針

『保護者・地域と共にこどもたちを育てる コミュニティ・スクール久原』

1 基本的な考え方

久原小学校は、「健康な子」「考える子」「やさしい子」「礼儀正しい子」の育成を教育目標とし、集団の中で学ぶ学校としての役割を果たしながら、社会生活に必要な「適応する力」と、これからの社会を「創造する力」を育てる。

そのために、こどもが学びや生活の中で自ら考え、選択・判断・行動することを大切にするとともに、学校や家庭、地域がそれぞれの役割を担い、協働してこどもを育てる学校運営を進める。

2 めざす学校の姿

こどもが仲間を大切にし、学ぶ意欲をもてる学校
職員が協力し、高め合い、こどもたちの教育に力を発揮できる学校
保護者や地域が信頼し、安心感をもち、ともにこどもを育てる学校

3 令和9年度の重点

- ・「自ら選ぶ力」を育てる教育の推進・・・学習や生活の中で、自分の考えや願いをもち、選択・判断・行動する場面を意図的に設定する。
- ・創造的な資質・能力を育成する授業改善・・・情報を収集・整理し、多様な考えを比較し、問題を発見して解決策を考え、試行錯誤しながら表現する学習を充実させる。
- ・地域とともに学び、地域に貢献する教育活動・・・教科「おおたの未来づくり」等を通して地域の人・もの・ことと関わり、地域のよさや課題を発見し、考え、行動する学習を進める。
- ・安心して学び、生活できる学校づくり・・・学級経営、生活指導、特別支援教育、教育相談、安全・危機管理等を組織的に進め、一人一人のこどもの成長を支える。

4 家庭・地域・関係機関との協働

学校運営協議会及び「スクールサポートくがはら」を中心に、自治会、青少年対策委員会、民生委員、久が原特別出張所、PTA等との連携を進める。地域人材を授業や学校行事等に生かし、地域コーディネーターによる連絡・調整を通して、こどもの学びを豊かにする。

教科「おおたの未来づくり」における地域との協働や、こどもによるあいさつ活動等を発展させ、こどもと地域が互いに学び、支え合う関係を育てる。

令和9年度 学校運営の重点的な取組

1 「自ら選ぶ力」を育てる。

- ・学習課題、学習方法、表現の仕方等について、自分で考え、選択する場面を設定する。
- ・「なぜそう考えたのか」「どのように判断したのか」を言葉で説明する活動を充実させる。
- ・学習や活動を振り返り、次の課題や行動につなげる力を育てる。

2 授業の質を高める。

- ・学力調査、授業評価、児童の実態等を踏まえた授業改善を進める。
- ・教員相互の授業参観・協議、OJT、校内研究等を通して授業力を高める。
- ・ICT、少人数指導、個別指導、体験活動等を効果的に活用し、一人一人の学びを保障する。
- ・各教科等で身に付けた知識・技能を他の学習や生活場面で活用し、思考・判断・表現の過程を振り返る学習を充実させる。

3 地域との協働を教育活動に生かす。

- ・地域の人材・施設・文化等を学習資源として活用する。
- ・地域の課題について、こどもが地域の方とともに考え、行動する機会を充実させる。
- ・地域コーディネーターを中心に、学校と地域をつなぐ仕組みを充実させる。
- ・登下校の見守り等について、保護者・地域の理解と協力を得ながら進める。

4 教職員の業務量管理・健康確保をする。

教職員がこどもたちへの教育活動に力を注ぎ、その専門性を十分に発揮できるよう、業務の精選・効率化と勤務時間の適正な管理を進める。

- ・学校行事、会議、文書、情報発信等について、目的や効果を検証し、精選・簡素化する。
- ・業務分担、ICT、地域人材等を活用し、教員が担う業務の適正化を図る。
- ・学校と家庭・地域が担う役割を明確にし、学校だけで抱え込まない体制をつくる。
- ・勤務状況を把握し、休憩・休暇の確保や健康相談等につなげ、心身の健康を守る。
- ・学校の勤務時間や対応の考え方を保護者・地域に丁寧に周知し、理解と協力を得る。

5 学校運営協議会とともに学校を改善する。

学校の現状や課題、教育活動、教職員の業務量管理・健康確保等について学校運営協議会と共有し、地域・保護者の意見を学校運営に生かす。学校評価等を活用して取組の成果と課題を検証し、次年度の教育活動・学校運営の改善につなげる。

令和9年度に目指す学校の姿

「こどもが自ら考え、選び、行動する学校」
「保護者・地域とともに、こどもの成長を支える学校」
「教職員が力を発揮し、安心して働くことのできる学校」